

1. 実況上の着目点

- ① 東シナ海と日本の東に高気圧があって、東へ移動。オホーツク海には発達した低気圧があって北東進。
- ② ①の2つの高気圧の間となる伊豆諸島付近には地上のシアーラインがあって大気の状態が不安定。活発な雷を検知し、非常に激しい雨を解析。
- ③ ①の高気圧と低気圧の間となる北日本や①の高気圧縁辺となる南西諸島では気圧の傾きがやや大きくなっており、やや強い風が吹いて波の高い所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の2つの高気圧は共に東へ移動するが、23日は北日本中心に気圧の傾きがやや大きく、やや強い風が吹いて波の高い状態が続く。南西諸島では、高気圧の縁辺で、吹送距離の長い北東～東北東の風の影響で、波の高くなる所がある。北日本と南西諸島では23日は、高波や強風に注意。
- ② 23日夜にかけて500hPa 5700m付近のトラフが伊豆諸島付近に接近し、1項②のシアーライン上に低気圧が発生して発達しながら北東へ進む。関東甲信地方ではシアーラインや低気圧の影響で、23日は大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、降ひょう、短時間強雨に注意。
- ③ 1項②の2つの高気圧の間となる日本海も気圧の谷となり、24日にかけて850hPa 300Kの下層暖湿気が北～東日本の日本海側に流れ込む。また、23日午後500hPa 5580m付近で-24℃以下の寒気を伴うトラフが、24日夜には別の500hPa 5580m付近で-24℃以下の寒気を伴うトラフが、北日本を通過する。下層暖湿気と上空に寒気を伴うトラフの影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～東日本では24日にかけて、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 25日は、500hPa 5400m付近のトラフが深まりながら朝鮮半島から日本海へ進み、低気圧が日本海を東北東進する。また、500hPa 5640m付近のトラフに対応して、前線を伴った低気圧が西日本付近から日本の東へ東北東進する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や上空の深いトラフの影響で大気の状態が非常に不安定となり、低気圧や前線の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて波が高くなる。25日は、西～北日本は、落雷や突風、降ひょう、短時間強雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意し、南西諸島と西～東日本は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】**
- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級)はない。
 - ③ 波浪(明日まで)：北海道3m。
 - ④ 高潮(明日まで)：大潮の期間。東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。